



南高

律・啓・創

9月号

進路だより

HOP!

STEP!

JUMP!

平成27年9月1日
福島南高・進路指導部

9月の行事予定

1日(火) 第1回進学推薦会議	17日(木) 2年第2回スタディーサポート
3日(木) 第2回進路希望調査	センター試験出願ガイダンス
6日(日) 全商英語検定	18日(金) 第1回ベネッセ駿台マーク模試(3年)
8日(火) 前期期末考査(~11日)	(~19日)
9日(水) 2学年保護者会(教育会館)	24日(木) 第4回交通安全指導・あいさつ運動
11日(金) 小論文講習会(3年)	第2回進学推薦会議
12日(土) 看護医療模試(3年)	25日(金) 地域づくりセミナー①(情会)
15日(火) ①②③⑥⑦、国際理解セミナー	27日(日) 全商情報処理検定
16日(水) 就職試験開始	29日(火) 前期終業日、①②③④⑤全校集会
全商情報処理検定対策講座	前期期末成績不振者指導
(~25日)	30日(水) 生徒休業日

センター試験 1月16日まで
・・・あと137日

就職試験開始9月16日まで
・・・あと15日

夏休みはどのように過ごしただろうか。蛍雪時代に載っている、合格した受験生の夏休み生活の統計を読み、自分の夏休みの生活を振り返ってみてほしい。

①朝は7時までに起床した	59%
②朝9時までに勉強を開始した	80%
③1日平均学習時間	8.4時間
④24時までに就寝した	72%
⑤平均睡眠時間	6.9時間
⑥勉強をしなかった日数が3日以下	62%

「3年生」

3年生の夏休みとは一般的にこのようなものである。世の中の受験生の大多数は勉強しているの
である。睡眠時間も確保しているのである。当たり前のことではあるが、夏休みでも学校でも、同
じ生活リズムで過ごすことが大切である。よく言われているが、就職試験にしろ入試にしろ、基本
的に9時くらいから始まるわけで、夜に試験をすることはない。したがって、夜に頭が冴えても意
味がない。朝の9時に脳が活発に動くためには2~3時間前までに起床し、朝食をちゃんと取る必
要がある。上記のデータはそれを物語っているのではないか。福島南高校の夏休みは7月18日か
ら8月24日までとして38日、⑥のデータより3日を引いたとしても35日×8.4時間=約2
90時間。さて、3年生諸君はこの夏休みどのくらいの学習時間であったのだろうか。自分が勉強
していても、世の中の受験生も勉強しているから、なかなか結果に表れないかもしれないが、やり
続けるしかない。もちろん時間だけではなく、中身も問題である。夏休みまでに国数英の3教科を

完成させ、夏休み明けからは理社を伸ばしていく。そんな流れから夏休み後からは理科社会の課外に移行しているのである。1分1秒を惜しんで勉強に励んでほしい。

「1～2年生」

まだ関係ないか思っていないだろうか。来年・再来年の自分の姿を想像してほしい。3年生の夏に自分がこのような受験生になれるのか。学校から与えられた課題に文句を言い、やらされている受動的な態度で、ギリギリにやっつけで答えだけ写して提出した者はいないだろうか。提出すらしていないものは問題外。課題はやって当たり前である。3年生になり、スイッチが入れば成績が伸びるわけではない。1年生からやるべきことをコツコツとしっかりやっていた者が3年生の最後に伸びる生徒である。この夏休みは、夏休み前までに理解できなかった内容や苦手教科を自分で重点的に学習する期間であった。できなかったものは、今年の冬休みにはしっかりと計画を立てて、学習することだ。3年生の4月時点で、国数英については基礎基本の内容はすべて終わっているはずだ。国数英の完成が早ければ早いほど、つまり取り掛かりが早いほど有利である。先輩たちと同じ後悔を繰り返さないためにも早く目標と計画を立て、取り組み始めてほしい。裏面に載せてある進学や就職に関することについてであるが、学校から推薦できる人数が限られている学校や企業について校内選考が行われる。人物を総合的に判断するが、大きなウェイトを占めるのが成績つまり評定平均である。3年生になって頑張ってもそんなに上がるわけではない。1～2年生の成績が重要なのである。今頑張らないと、自分の進路の選択の幅が狭くなってしまう。

成功する受験生

- 失敗を恐れず、積極的に挑戦できる
- 気持ちを切り替え、失敗を糧にできる
- 現実と向き合って自己分析できる
- 小目標を立てて一歩一歩前進できる
- 時間のマネジメント能力が高い
- メリハリやバランスを意識できる
- 大学に進学する明確な目的がある
- 自分の考えを、自信を持って貫ける
- 素直で、物事を柔軟に考えられる
- 周囲とのコミュニケーションが上手

失敗する受験生

- 失敗を必要以上恐れて挑戦しない
- 失敗したときはくよくよ悩むだけ
- 現実から逸らし、近道を行きたがる
- 目標も立てず、やみくもに勉強する
- いつも時間に追われ、流されている
- 勉強内容などに偏りを意識しない
- 知名度や受験科目で志望校を決める
- あれこれと手をつけ、どれも中途半端
- 自分の考えを頑として曲げない
- 先生や保護者などと相談できない

蛭雪時代より

<各種出願について>

すでに就職試験やAO入試などで出願が始まっているところもあります。10月以降には本格的に推薦入試が始まります。各種試験に出願する際には、様々な書類を期日に間に合うように準備する必要があります。まずは、自分の進路に関わることなので、自分が一番把握していなければなりません。できる限り自分で処理し、余裕をもって、担任の先生のところへ行きましょう。毎年いろいろなミスやトラブルが起きます。記入ミスの際に修正液を使ってはならない・出願締め切りは消印有効か必着か・写真や切手の貼り忘れ・受験料の支払いは銀行？郵便局？など、注意することがかなりあります。細心の注意をはらって準備しなければなりません。

進学推薦会議日程

	月 日	出願希望書 提出締切日	対 象 の 学 校	備 考
第 1 回	9 月 1 日(月)	8 月 2 5 日(火)	出願開始日が9月中の学校	
第 2 回	9 月 2 4 日(木)	9 月 1 7 日(木)	出願開始日が10月中の学校(公募推薦) 出願開始日が10月8日までの指定校	
第 3 回	1 0 月 9 日(金)	1 0 月 2 日(金)	出願開始日が11月中の学校(指定・公募)	
第 4 回	1 1 月 4 日(水)	1 0 月 2 8 日(水)	センター試験を課す国公立大学の公募推薦 出願開始日が12月以降の学校	
第 5 回	1 2 月 1 日(火)	1 1 月 2 4 日(火)	出願開始日が1月以降の学校	

就職試験の日程

- 9 月 1 日(火) 履歴書提出
- 3 日(木) 第1回就職模擬面接
- 4 日(金) 就職応募書類発送(進路指導部)
- 8 日(火) 就職希望者模擬面接最終指導
- 9 日(水) //

※企業より就職試験についての通知が到着したら、受験届を提出(公欠願を兼ねます)

1 6 日(火)～就職試験開始

※受験終了後、受験報告書を作成し、進路指導部に提出

※内定をいただいたら、礼状を作成し、会社に送付する。入社承諾書があればそれも一緒に送付する。

◎就職試験最終チェック ～ 下調べは万全かな?□にチェックしよう。～

○身だしなみ

- 服装は制服。正しく着用しよう。(9月中は夏服です。)アイロンをかけたリ、クリーニングに出して清潔にしておくこと。ワイシャツやブラウスは学校指定のものを着用する。靴も汚れていないものを。
- 靴下や下着を清潔に。(下着は白無地のもの。靴下のワンポイントも不可。)
- 黒のベルトをつけること。(男子)
- ワイシャツなど、袖も含めてボタンは全部きちんとついているか。
- 頭髮はきちんとしているか。女子の場合、長い場合は束ねること。
- スカートの丈はきちんとしているか(女子)、ズボンの裾はほつれたりしていないか。(男子)
- 爪はのびていないか。(マニキュアなどもってのほか)また化粧は厳禁。(眉毛なども細くしすぎない)

○持ち物

- 生徒手帳・筆記用具・メモ帳
- ポケットティッシュ・ハンカチ(地味なもの)
- 受験先から指定されたもの(印鑑など)
- 携帯電話・スマートフォンの電源はOFF。(マナーモードも駄目。試験中に鳴ったらまず不合格。)

○履歴書・求人票の内容や学校についての事項

- 志望動機の内容や部活動、係のことなどは質問されても答えられるようにしておこう。(履歴書のコピーは必ずとっておくこと)
- 求人票の記載事項についてもう一度確認しておこう。
- 校訓や生徒数など学校に関することはもう一度確認しておくこと(生徒手帳参照)
- 会社について聞きたいこと(質問)を1つ準備しておくこと

○試験場までの下調べ

- 集合時間までに会場に到着できるように、徒歩での所要時間や電車・バスの時間を調べておく。
- 事前に必ず下見しておく。

7月30日 東北大学オープンキャンパス(1年生)の感想より

「大学」という今までの何となくのイメージから、今回のオープンキャンパスを通して、少し具体的なイメージになったと思います。この大学、この学部がいいなと決めても、実際に見るとこんなにも違うんだと感じました。今日のことをきっかけに、自分の将来のことを考え、大学について調べ、オープンキャンパスに行くなどして、大学のことを知っていけたらいいなと思います。今回行けたのは、少しだったので全部見れませんでした。他のも見てみたいなと思い、少々残念です。貴重な体験ができてよかったです。

はじめてきた大学で、どんな感じなのか知ることができた。それぞれのキャンパスや学部が違っただけで雰囲気全然違ってとても面白かった。学食も普通の塩ラーメンを280円という安さで食べることができてとても驚いた。他の大学に行ったら、また違うことや違う雰囲気を知ることができると思うからいろいろな場所に行ってみたい。今回の東北大学のオープンキャンパスはとても勉強になる良い機会だった。

30秒間動く映像をみたあとまわりのものを見るとゆがんでみえるという体験をしました。実際にはゆがんでいないけれど自分自身の目(世界)が歪ゆがんで見えていたそうです。他にも味覚を利用した実験をしました。本当はどの味も同じなのに目から入る情報などによって味が違う感じるというものでした。人間の行動などから読みとる心理というのがあってすごいなと思いました。

小・中・高のどこでも体験したことがない雰囲気だった。他のところからの見学者も大勢いてにぎわっていた。文系理系どちらを選んだとしても、またそれぞれに何個か学部に分かれて全然違うことをしているのに驚いた。高校よりも選択の幅が増えておもしろそうだなと思った。卒業後も行った学部によって全然ちがうことがわかった。内も外もひろくてゆったりできる場所が多くてよかった。食堂の料理はおいしかった。(混んでいた)どの学部もかなり広かった。個別の勉強スペースやパソコンの貸し出しなどもあった。来年機会があったら、違うところにも行ってみたいと思った。

薬剤師を目指すために必要な学力・機器をそろえており、この大学に入れば非常に充実したキャンパスライフを送れ、国家試験合格も夢ではないだろう。カリキュラムもよくできており、中でも実験をする機会が多いのも良い。衛生学院に入り、臨床検査技師を目指そうとしていたが、薬学部に入り薬剤師を目指すのもいいかもしれない。どちらにせよ、学力がほしいので地道にコツコツと積み上げていくことにする。

大学を見て、話を聞いて、大学のイメージがだいぶ変わった。図書館には大きなパソコン、知らない本や貸し出し用のパソコンまであってとてもおどろいた。キャンパスライフも思っていたよりもとても自由なようだったので、話を聞いてとても楽しかった。講義のほうもきいてとてもきょうみがわいてきた。

テレビなどで見たことはありましたが、実際に自分の目で見ると大学はとても大きかったです。それに各学部の場所もとても広く、研究室にも資料や道具がたくさんあり、自分のやりたいことをとことんやれそうな感じでした。大学生も教授もみんな親切で、学部の説明などもとてもわかりやすかったです。また、研究室以外にも食堂は建物が大きく、メニューも充実していてとてもおいしかったです。あらゆる意味で、高校とは規模が違って、遠い存在のように思いますが、もしかしたら自分も2~3年後にこのような場所に通っているかもしれないと思うと、今からでもやれることを精いっぱい頑張ろうと思いました。

教育学部は期待していたほどではなかったが、文学部は予想以上に良かった。文学部だから現代国語のようなことをするのかと思っていたが、歴史の中で日本史・世界史・宗教学・美術史など興味を引く学科がたくさんあり、とても楽しかった。日本史専攻の2人の大学4年生の講義を受けたが、自分が考えようともしなかったことをたくさん話していて、こんな考え方があるのかと思った。同時に大学生ともなると、人に教えるのがとても上手く、そんな人になりたいと思った。今回大学のオープンキャンパスに来て、大学がどんな場所でもこんなに楽しいか知ることができた。しっかりと勉強して大学に合格できるようがんばろうとおもった。

はじめて大学に来て、大学ってこういうところなんだな~と感じた。1時間の模擬講義では「経済学」とはどういうふうに生まれ、だれが教え、だれが考え、何のために生まれたのか、ということについて学んだ。普段の授業とは違って、専門的で難しい内容だったが、講義の先生の説明の仕方に興味がひかれ、あっという間の1時間だった。東北大学のオープンキャンパスに来てよかったと思う。